

● 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 定時株主総会 毎年6月
 定時株主総会基準日 3月31日
 期末配当金基準日 3月31日
 公告方法 当社の公告方法は、電子公告としております。
 公告掲載URL：https://www.kyokuyo.co.jp
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって
 電子公告を行うことができない場合は、東京都
 内において発行される日本経済新聞に掲載す
 る方法により行います。

株主名簿管理人および
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 電 話：0120-232-711（フリーダイヤル）
 郵送先：〒137-8081

新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部

（ご注意）

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページ



トップページ



SNS



YouTube



X (旧Twitter)



株式会社 極 洋

〒107-0052 東京都港区赤坂三丁目3番5号



BUSINESS REPORT

第 **102** 期 報告書

2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日



いっもとなりに おいしいキョクヨー

株主の皆様には、

平素より格別のご高配を賜り、

厚く御礼申し上げます。

ここに第102期(2025年3月期)

報告書をお届けいたします。

代表取締役社長

井上 誠



企業理念

人間尊重を経営の基本に、
健康で心豊かな生活と
食文化に貢献し
社会とともに成長することを
目指します。

当期は、外食産業はインバウンド需要による拡大傾向にあったものの、食品業界全体としては、人件費や原材料価格などの上昇を反映した価格改定により、消費マインドに足踏みがみられ、厳しい経営環境が続きました。キョクヨーグループではこのような状況の中でも、水産相場の堅調な推移を見越した戦略的な販売により、水産事業セグメント、生鮮事業セグメントの鯉鮪事業が牽引し、過去最高の売上高、利益を達成することができました。

また、3カ年の中期経営計画「Gear Up Kyokuyo 2027」の初年度として事業基盤の拡充を進めるべく、海外事業および食品事業の生産拠点の整備に努めました。

引き続き、「魚を中心に、食で人と暮らしと地球によりそう サステナブルな世界へ」との企業パーパスのもと、当社グループを強化・拡大し、成長を加速させてまいります。

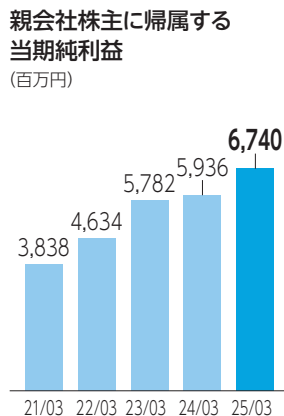
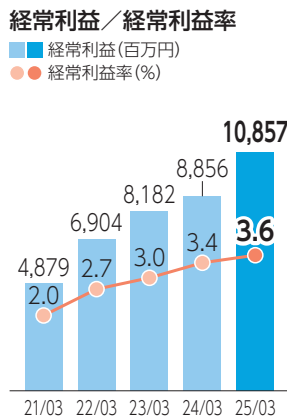
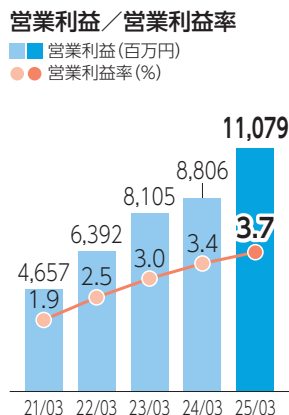
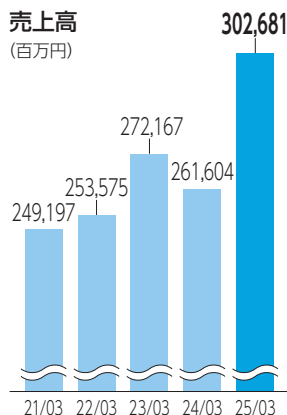
株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



● 主な連結経営指標

ポイント

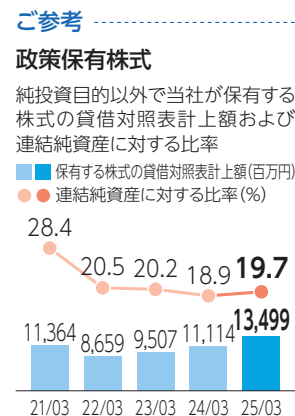
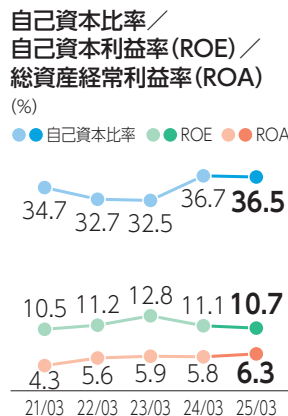
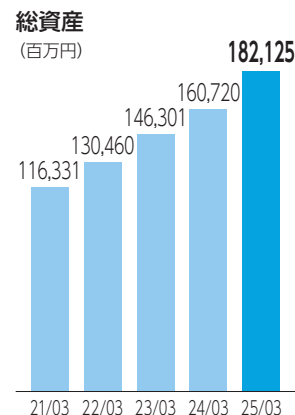
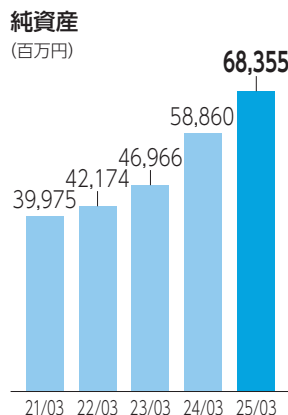
- 売上、利益とも**過去最高値**。
- 売上は**水産事業**が、利益は**水産、生鮮事業**が牽引。



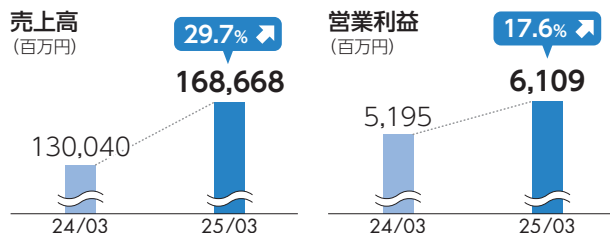
● 主な連結財務指標

ポイント

- M&A、工場竣工で**総資産が上昇**も、
経常利益の大幅増で**ROAは上昇**。

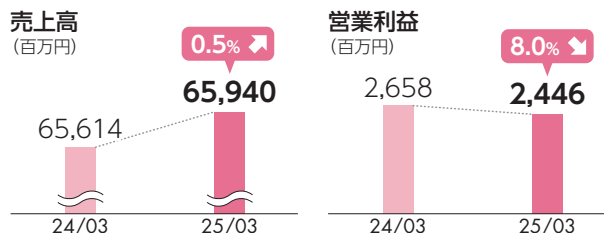


水産事業セグメント



1937年に漁労会社としてスタートして以来、築き上げてきた国内外の調達ネットワークを活かし、世界中から質の高い水産物を安定的に調達するとともに、切身やカニ、エビの剥き身などの加工品を提供しています。注力している海外事業については、日本産水産物の輸出版売のほか、自社グループの海外生産拠点の整備を進めており、加工品や食品のグローバル販売を強化しています。

食品事業セグメント

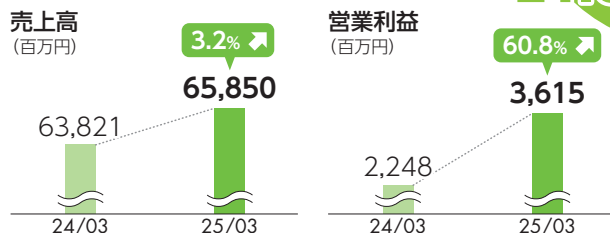


業務用冷凍食品、市販用の冷凍・チルド食品、缶詰・珍味などの常温食品で構成されています。

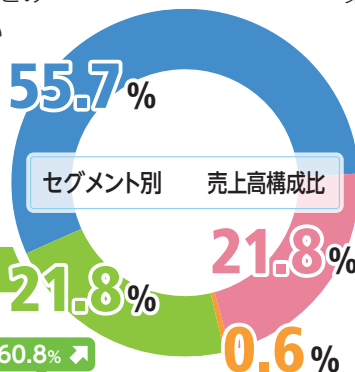
業務用冷凍食品は、煮魚・焼き魚、水産フライやカニ風味かまぼこ、骨なし切身をはじめとする「だんだり上手」シリーズなどを、外食ルートや量販店の惣菜売場、医療・介護施設などに販売しています。

市販用冷凍食品は、煮魚・焼き魚をはじめ、食卓・お弁当の惣菜品としてご利用いただける商品を提供しています。缶詰については、サバなどの魚介缶詰をはじめ、畜肉・農産缶詰を取り揃えています。また、さきいかなどの珍味類のほか、DHAなどの健康食品も販売しています。

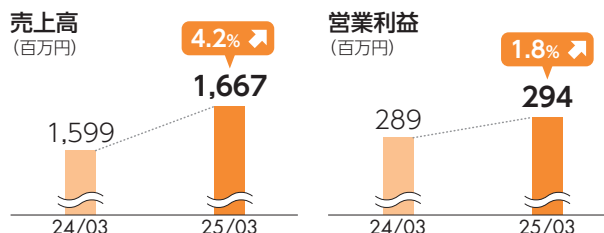
生鮮事業セグメント



寿司種をはじめとする生食事業と、カツオの漁獲、マグロの買付から加工・販売までを手掛ける鰹鮪事業、養殖事業で構成されています。寿司種は日本向けだけでなく、回転寿司チェーンの海外店舗にも拡販を進めています。カツオについては、当社グループ所有船による独自の調達力があり、マグロについては四国で養殖し、オリジナルブランド「本鮪の極」として出荷しています。高知県の子会社ではマダイなどを養殖しており、養殖魚種の拡充を図り、資源アクセスを強化しています。



物流サービスセグメント



東京の大井および城南島、福岡の3事業所における冷蔵倉庫事業を中心に、倉庫からの配送手配などのロジスティクス・サービスを提供しています。

Gear Up Kyokuyo

2027

(2024～2026年度)

パーパス

魚を中心に、食で人と暮らしと
地球によりそう サステナブルな世界へ

企業パーパスのもと、「事業基盤」の拡充、「財務基盤」と「ステークホルダーとのパートナーシップ」の強化を進めながら、ミッション達成に向けて、以下の3つの視座で施策を遂行し、強いキョクヨーを追求していきます。

- 事業基盤(生産拠点、販売拠点等)の拡充
- 財務基盤(安定的な利益の獲得、多様な資金調達等)の強化
- ステークホルダー(お客様、お取引先様)とのパートナーシップの強化

3つの視座

01 人財・組織

従業員一人ひとりが活躍できる職場環境を創造するため、キョクヨーグループ各社と個々とのエンゲージメントを重視し、成長の原動力となる人財の育成を通して、社会の変化に対応できる組織を整える。

02 4つの事業

変化に柔軟に適応できる人財に富んだ組織のもとで、水産・生鮮・食品・海外の4つの事業を柱に、グループを強化・拡大。

03 グローバル化

食の多様性への対応はビジネスチャンスにつながることから、4つの事業展開で世界各地の食のニーズを捉えた商品の現地生産・販売体制を整え、水産物需要が高まる海外で事業ウィングを拡げる。

01
人財・組織
変化への対応
エンゲージメント

02
4つの事業
水産事業 生鮮事業
食品事業 海外事業

03
グローバル化
拠点
マーケット
商品



強化・拡大

キョクヨーグループのミッション

- 魚を中心に健康で安心安全な食を提供する
- グローバルなサプライチェーンの中で責任ある調達を実践する
- 社会や地球環境と調和したサステナブルな食を実現する
- 一人ひとりが活躍できる明るい会社をつくる

また、キョクヨーグループの強化・拡大を達成し、成長を加速させるため、KPIを設定しました。

目的	2027年3月期目標値
事業規模の拡大	売上高 4,000億円
高収益体制の強化	営業・経常利益 135億円
グローバル化の推進	海外売上高比率 15%以上
資産効率性の重視	ROIC（投下資本利益率） 6%以上
株主還元の充実	DOE（株主資本配当率） 3%以上

『Gear Up Kyokuyo 2027』

初年度(2024年度)の振り返り

1 視座 グローバル化

事業基盤の拡充 海外事業の拡大

海外事業を推進する部署として「海外事業本部」を、海外M&Aを推進する専門部署として「海外事業戦略部」を新設しました。

「海外でつくり、海外で売る」方針のもと、海外生産拠点の整備を進めたほか、輸出事業も強化するべく、国産ホタテの加工・輸出会社を設立しました。

海外売上高比率

2024年3月期

2025年3月期

8.3% (218億円) ▶ 10.8% (325億円) 



Northseafood Holland B.V.

2024年度の主な取り組み

海外生産拠点の整備

米国のカニ風味かまぼこ工場(Ocean's Kitchen Corporation)、ベトナムの食品工場(Kyokuyo Vina Foods)が稼働を開始

健康志向の高まりで消費拡大が見込まれる、米国向けカニ風味かまぼこの工場と、日本向けに切身・煮魚・焼魚などを製造するベトナムの工場での生産がスタートしました。ベトナムでは本工場を足掛かりに、東南アジア向け製品を生産する第2工場の設立を模索しております。



Ocean's Kitchen Corporation



Kyokuyo Vina Foods

24年6月 オランダの水産加工・販売会社を買収

欧州での食品事業強化のため、水産物を中心とした加工品・冷凍食品を製造、欧州各地のスーパーなどに販売しているNorthseafood Holland B.V.を連結子会社化しました。

2 視座 4つの事業

事業基盤の拡充 食品事業の拡大



自社工場を中心とした生産・販売体制の強化を図る中、需要増加が見込まれる市販用冷凍食品の生産拠点を竣工いたしました。

2024年度の主な取り組み

25年2月 新たな市販用冷凍食品工場が始動

フライ製品などの市販用油ちょう品について、「極洋食品(株)倉吉工場」(鳥取県)の新設により、既存の塩釜工場(宮城県)と併せた生産能力の増強および全国的な物流効率化を実現し、食品事業の拡大および高収益化を図ってまいります。



TOPICS

トピックス

サステナビリティの取り組み

調達・販売、漁獲、養殖、生産の各段階において、ビジネスの基盤である海洋環境の保全と海洋資源の有効活用が重要と考え、以下の取り組みを行っています。

1. 調達・販売

事業の中心である調達・販売部門では、MSC/ASCなどの認証水産物の取り扱いを進めています。また、調達した水産物の資源状態を確認する水産物資源調査を実施しています。

2. 漁獲

カツオを漁獲しているグループ会社では、成魚に焦点を当てて漁獲し、意図せず網に入ったカメなどの絶滅危惧種を海に戻しています。

3. 養殖

マグロの養殖では、漁網やブイが流失しないよう漁具のチェック・修繕・廃棄を定期的に行っています。

4. 生産

自社工場では、使用する包材のプラスチック量を削減し海洋プラスチックごみの発生を抑制しています。

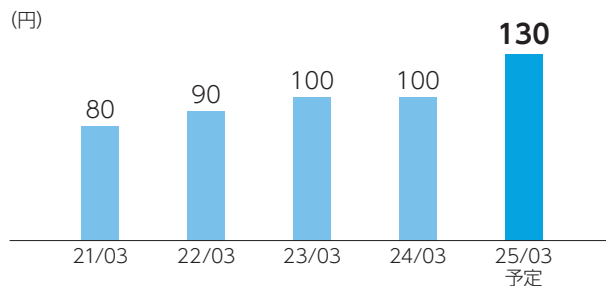
株主インフォメーション SHAREHOLDERS INFORMATION

● 株主還元について

配当金 **130** 円

当社は企業体質の強化および将来の事業展開に備えるための内部留保の充実を図るとともに、安定配当を継続しつつも、中長期的な利益成長による配当水準の向上を目指します。2025年3月期の配当は、1株130円といたしたく、第102回定時株主総会にお諮りいたします。

配当の状況(1株当たりの配当金)



● 株主優待のご案内

当社は、株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式の魅力を高め、当社株式を保有していただける株主の増加を図ることを目的として株主優待制度を実施しています。

次頁にてご紹介





● 株主優待の内容

対象株主

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された
1単元(100株)以上所有の株主様

優待の内容

- 1単元(100株)以上3単元(300株)未満所有の株主様
→ **2,500円相当の当社製品**を贈呈
- 3単元(300株)以上所有の株主様
→ **6,000円相当の当社製品**を贈呈

贈呈時期

毎年7月予定

当社製品を贈呈



2,500円相当
製品詰め合わせ

- 帆立貝柱水煮
- さば味付
- アラスカ産紅鮭水煮



6,000円相当
製品詰め合わせ

- さば味付×2缶
- 紅ずわいがに赤身脚肉
- アラスカ産紅鮭水煮×2缶
- 帆立貝柱水煮

● 株式の概況 (2025年3月31日現在)

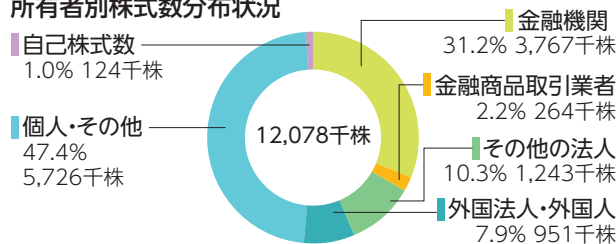
発行可能株式総数 43,700,000株
発行済株式の総数 12,078,283株
株主数 30,501名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,629	13.63
株式会社りそな銀行	523	4.37
農林中央金庫	445	3.72
株式会社日本カストディ銀行	362	3.03
東洋製罐グループホールディングス株式会社	315	2.63
三井住友海上火災保険株式会社	250	2.09
東京海上日動火災保険株式会社	179	1.50
中村 格彰	171	1.43
極洋秋津会	151	1.26
JP MORGAN CHASE BANK 385781	149	1.25

※上記株式のうち日本マスタートラスト信託銀行株式会社全株、
株式会社日本カストディ銀行全株は、信託業務に係る株式であります。

所有者別株式数分布状況



株価および出来高の推移

